

第13回「いけいけチャレンジ！遠賀川」発表会

- 開催日時：平成29年1月21日（土） 13:00～15:30
- 会場：遠賀川地域防災施設（遠賀川水辺館）
- 目的：「いけいけチャレンジ！遠賀川」は、小中学生が遠賀川等の河川を題材にした学習・活動を発表する会であり、河川環境教育の推進や参加校同士の交流を図ることを目的に実施しています。
- 主催：遠賀川河川事務所
- 後援：福岡県教育委員会
- 運営：YNHC、中高校生のボランティアスタッフ
（鞍手竜徳高校、直方第二中学校科学部）

時間	プログラム
13:00	開会挨拶（遠賀川河川事務所 浦山事務所長）
13:15	飯塚市立片島小学校 5年生（地球環境プロジェクト～守ろう遠賀川～）
13:30	芦屋町立芦屋東小学校 4年生（私たちの遠賀川）
13:45	田川市立伊田小学校 4年生（川は友だち）
14:00	休憩
14:10	岡垣町立吉木小学校 6年生（「汐入川」は豊かな川なのか？～私たちにできること～）
14:25	小竹町立小竹北小学校 2年生（生き物調査隊2016）
14:40	直方市立直方第二中学校科学部（ぼくたちは、直方第二中学校科学部）
14:55	休憩
15:00	全体講評（福岡県教育庁筑豊教育事務所 川波指導主事）
15:15	感謝状授与
15:30	閉会



■各学校等の発表概要

飯塚市立片島小学校発表（地球環境プロジェクト～守ろう遠賀川～）



- ・遠賀川について学習したことを劇にして発表した。
- ・遠賀川には外来種が棲んでいる。ペットとして飼っていた生き物が大きくなりすぎて飼えなくなって放したり、食用として持ち込んだりしたことが原因だとわかった。
- ・外来種をこれ以上増やさないためにも、ペットを飼う場合には、最後までしっかり面倒をみることができるか考えて飼うようにする。
- ・ゴミをエサと間違えて食べたり、からんで動けなくなったり、捨てられたゴミが生き物を苦しめていることを知った。
- ・エコバックや水筒を利用したり、詰め替え用製品を買うことでゴミを減らすことができる。
- ・川を汚す主な原因は生活排水で、生活排水を浄化するには大量の水が必要になることを知った。
- ・遠賀川をきれいにするため食べ残しをしない、洗剤をなるべく使わないなど、私たちでできることをしていきたい。



芦屋町立芦屋東小学校発表（私たちの遠賀川）



- ・総合的な学習の時間に学んだ遠賀川の水質のことや河口堰、魚道についてのことをパネルを使いながら発表した。
- ・遠賀川河口堰には、治水、利水、塩害防止の3つの大きな役割があることを知った。
- ・2013年に完成した魚道は既設魚道と比べて、自然が豊かで、流れも緩やかで、泳ぐ力の弱い小さな魚も生息できるようになった。
- ・上流から多くのゴミが流れてくるが、河口堰のところで、海へ流れ出ないようにゴミを回収し人の手によって分別されていることを知った。
- ・上流・中流・下流の水でCODのバックテストを行った結果、下流に行くにつれて汚れがひどくなっていることが分かった。
- ・学習を通して遠賀川が生活に深く関係していることが分かった。
- ・私たちも自分たちができることを実行して、遠賀川や魚道の自然を守っていききたいと思う。



田川市立伊田小学校発表（川は友だち）



- ・学校近くを流れる彦山川について、総合的な学習の時間を利用して調べたことを発表した。
- ・彦山川の中流の水質は、CODパックテストの結果が紫色になり、汚れていることが分かった。
- ・原因を調べた結果、汚れの原因は生活排水だとわかった。
- ・食器の汚れは紙でふき取り、食べ残しはしない、アクリルたわしを使用するなど、できる範囲で水を汚さないよう行動する。
- ・彦山川を以前の川に戻すために地域で活動している方々があり、水質調査やゴミ拾い、花を植えたり、啓発活動などを行っていることを知った。
- ・学習を通じ、自然を汚し壊しているのは私たちの生活の仕方が大きく関係していることが分かった。
- ・ゴミを持ち帰る、生活排水に気を付ける、ポスターでの呼びかけなど、自然を守るために身近なことからは始める。

岡垣町立吉木小学校発表（「汐入川」は豊かな川なのか？～私たちにできること～）



- ・学校の側を流れる汐入川について調査したことをクイズを用いてわかりやすく伝えた。
- ・水質調査では、透視度測定と、PH、CODのパックテストを行った。
- ・PHを計ったところ、下流に行くほど水は酸性になっていった。
- ・CODは、源流1、中流4、下流7を示し、源流の水はきれいなことが分かった。
- ・汐入川には、カワセミ、ギンブナ、鴨、コイ、メダカ、トンボ等の多くの生き物が棲んでいるが、オオクチバスなど外来種の数が増えているという問題があることが分かった。
- ・汐入川で捕まえた生き物を福岡県の指標で調べたところ、自然が失われつつある環境だということが分かった。
- ・道路や川にごみを捨てない、汚れた水を流さないゴミ拾いをする、川の汚れを知ってもらうために新聞を作成するなど、私たちにできることを考え実行している。

小竹町立小竹北小学校発表（生き物調査隊2016）



- ・小竹北小の近くの「わくわくごとくりバー」で、5月から2学期終わりまでの期間、「生き物調査隊」として活動を続けた取組みを発表。
- ・専門家に生き物の採り方を教わり、捕まえた生き物を教室で飼うことになった。
- ・捕まえた直後はエサを食べなかったが、数日後にはエサを口に入れたり出したりして味を確かめているようだった。その翌日にはエサを食べた。
- ・捕まえたザリガニが一匹増えていたが、脱皮した抜け殻だった。
- ・捕まえたり観察するだけでなく、絵を描いたところ、賞状、メダルをもらった。
- ・「わくわくごとくりバー」での体験を作文に書いたところ「わたしたちの文集」に載った。
- ・図工の時間に絵を描いたり、生き物観察のことを作文に書いたりして、とても楽しかった。

直方市立直方第二中学校科学部発表（ぼくたちは、直方第二中学校科学部）



- ・科学部活動で、水辺館で行われている「遠賀川流域子供水フォーラム」に参加し、そこで学んだことを発表した。
- ・水フォーラムでは、植物観察や里山、多自然魚道での調査等を行った。
- ・植物についての勉強では、観察だけでなく、匂いをかいだり味見をしたりした。
- ・採取した植物は様々な形をしており、名前や名前の由来を調べた。
- ・最近、外来種が増えたことで、在来の植物、動物、昆虫が脅かされていることを聞き驚いた。
- ・多自然魚道に行き、初めての胴長を着用しながら大きな網を使いオイカワ、ハゼなど様々な魚を捕獲した。
- ・10月に里山へ行き、山の案内を受けながら栗の木を植えた。
- ・これからも「遠賀川流域子供水フォーラム」に参加して、色々な事を学んでいきたい。

出場者の皆様



飯塚市立 片島小学校5年生



芦屋町立 芦屋東小学校4年生



田川市立 伊田小学校4年生



岡垣町立 吉木小学校6年生



小竹町立 小竹北小学校2年生



直方市立 直方第二中学校 科学部

スタッフの皆様



福岡県立 鞍手竜徳高等学校 直方市立 直方第二中学校 科学部